

## 事業の基礎情報

実施主体	ハートランドフェリー株式会社
事業実施地域	奥尻町～江差町を結ぶ航路
共創の類型	官民共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	観光・まちづくり
共創パートナー	奥尻町、奥尻島観光協会、チーム島おこし、ハートランドフェリー株式会社
運行形態	一般旅客定期航路事業
運行主体	ハートランドフェリー株式会社

## 取組の概要

### (現状の地域課題と事業目的)

奥尻島においては、繁忙期を除き1日1便のフェリーによって住民や観光客、自動車を輸送している。しかし、1日1便では利便性が低く、住民からは通院に利用しにくいなどの声が上がっている。

このため、島の産業振興・観光振興や定住人口・交流人口・関係人口の拡大を目的に、奥尻島民及び奥尻島への来訪者の利便性向上に資する実証運航及びニーズ調査を通じて奥尻航路の持続的な運航を確保するための方策を構築する。加えて、島内各主体におけるフェリー運航に関する連携の場を作り協働することによって、島内のエンゲージメントを高める。

### (事業の概要)

島の産業振興・観光振興や定住人口・交流人口・関係人口の拡大を図るため、フェリー運航会社と島内各主体が連携・協働し、奥尻島民からの要望が強い1日2便の運航期間を拡充（現在はGW、夏休み期間中のみ）するとともに、季節変動運賃・特別自動車航走料金に関する利用者ニーズ調査を行い、将来的なダイナミックプライシングの導入を検証する。

さらに、奥尻島観光協会とも連携し、観光客へのプロモーションを行うことで、効果的な誘客促進を図るとともに、住民や観光客の利便性の向上につなげるため、フェリー下船後のラストワンマイルとしての町営バスやレンタカーとの連携強化を図る。

## 事業の全体像・共創の仕組み

共創パートナー

PR活動

奥尻島観光協会

主な役割：プロモーション  
(WEB、チラシ作成等)

調整 ↑

奥尻町

主な役割：関係者間の調整

調整 ↓

チーム島おこし

主な役割：観光客おもてなし事業  
(お出迎え、お見送り)



実施・運航主体

ハートランドフェリー株式会社

主な役割：実証運航の実施  
全体の管理

運航ダイヤ調整

共創パートナー

共創パートナー

おもてなし事業

## 取組の詳細

### (地域の関係者との連携・協働)

ハートランドフェリー株式会社は、実証運航及び全体的な運航収支の分析・検証を行い、事業全体の管理を行う。

奥尻島観光協会は、観光客に対して実証運航とフェリー下船後のラストワンマイルとしての町営バスやレンタカーを一体的にプロモーションを行うとともに、観光客のニーズにあった効果的な誘客促進策となるかどうかを検証する。

チーム島おこしは、フェリー岸壁での観光客おもてなし事業を行う。

奥尻町は、関係者間の調整を行う。

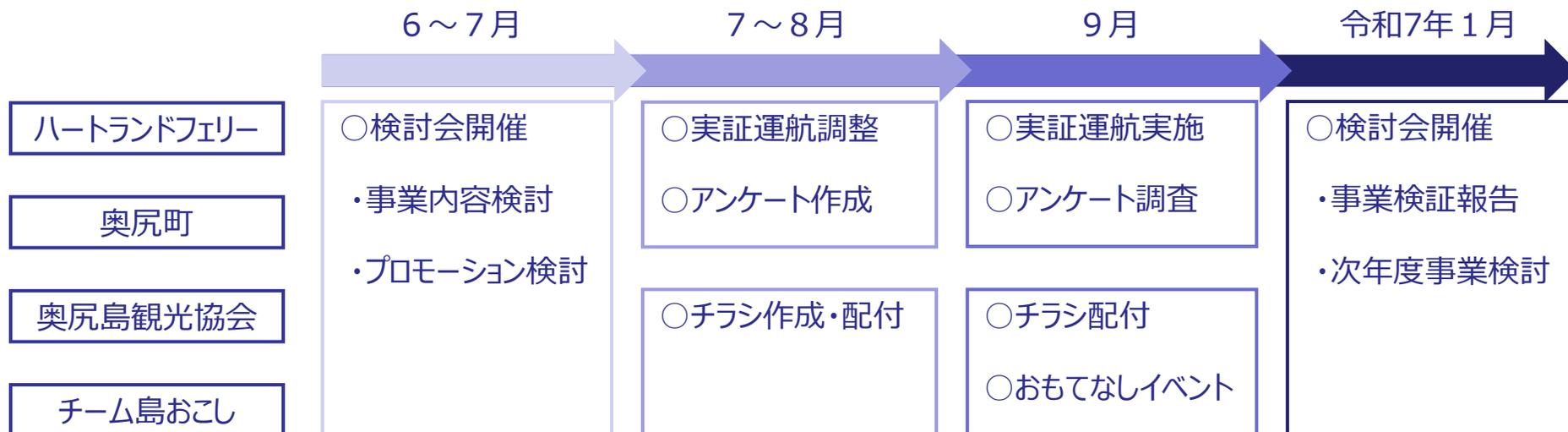
### (実証事業により見込まれる効果)

実証運航による航路の輸送量は前年比で、旅客が約360人(8.5%)、車輛(乗用車)が約94台(6.6%)増加することにより、奥尻航路の持続的な運航確保に資することができる。

また、島内での各主体による連携の場ができることにより、中長期的にも適切に運航ニーズ把握ができる仕組みが構築される。

## 取組の詳細

### (事業実施手順・スケジュール)



※令和7年1月の検討会において補助事業の完了を確認し、開催から10日以内に事業完了実績報告書を提出する。

### (補助事業実施後の予定)

実証運航及びアンケート調査結果から適正な運賃・料金の検証を行うとともに、関係者の拡大を検討していく。